

6. 施策パッケージの設定

6.1 施策のパッケージ化

施策実施のより高い効果を得るため、各施策が連携・連動し、相乗効果を発揮するように施策を組み合わせ、「施策パッケージ」として位置付けることにより戦略的に取組んでいくこととし、以下に取組むべき施策パッケージを構築します。

戦略目標Ⅰ 誰もが暮らしやすく、外出・移動しやすい交通体系の構築	
施策パッケージ	(1) 多様な交通手段により移動しやすい交通体系の構築
	(2) 子どもから高齢者が安全で外出しやすい交通環境づくり
戦略目標Ⅱ 拠点の活力促進に向けた交通環境の充実	
施策パッケージ	(3) 拠点での回遊性を高めるにぎわい空間の創出やアクセス機能の強化
	(4) 拠点における交通結節機能の強化や連携強化
戦略目標Ⅲ 人流・物流や都市の魅力づくりを支える交通ネットワークの形成	
施策パッケージ	(5) 泉南地域の中心都市としての魅力を維持・向上させる交通体系の構築
	(6) 市民や来訪者が分かりやすく使いやすい交通環境づくり
戦略目標Ⅳ 地域とともにすすめる安心・安全な交通環境の確保	
施策パッケージ	(7) 地域性に応じた生活交通の確保
	(8) 地域に優しい生活道路の創出

図 6-1 目標達成に必要な施策のパッケージ化

6.2 施策のパッケージの概要

戦略目標Ⅰ	誰もが暮らしやすく、外出・移動しやすい交通体系の構築
施策パッケージ	(1) 多様な交通手段により移動しやすい交通体系の構築
<ul style="list-style-type: none"> 日常生活で外出や移動を容易にするため、歩行者や自転車の通行空間の整備とともに、公共交通サービスの改善を図ります。 	
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>施策 1：幹線道路における安心・安全な歩行空間の創出</p> <p>施策 2：自転車利用環境の向上</p> <p>施策 3：バス交通サービスの拡充</p> </div>	

戦略目標Ⅰ	誰もが暮らしやすく、外出・移動しやすい交通体系の構築
施策パッケージ	(2) 子どもから高齢者が安全で外出しやすい交通環境づくり
<ul style="list-style-type: none"> バリアフリー化や交通安全に係る施策を総合的に推進することで、子どもから子育て世代、妊産婦、障害のある人、高齢者等のすべての人が外出・移動しやすい交通環境づくりを進めます。 	
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>施策 4：移動環境におけるバリアフリー化の推進</p> <p>施策 5：子どもや高齢者の交通安全</p> </div>	

戦略目標Ⅱ	拠点の活力促進に向けた交通環境の充実
施策パッケージ	(3) 拠点での回遊性を高めるにぎわい空間の創出やアクセス機能の強化
<ul style="list-style-type: none"> 鉄道駅周辺等における拠点の活性化に向けて、歩行者・自転車が快適に移動できる空間整備や公共交通利用によるアクセス性の向上を進めます。 	
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>施策 6：鉄道駅等へのアクセス道路の整備推進</p> <p>施策 7：公共交通による拠点へのアクセス改善</p> </div>	

戦略目標Ⅱ	拠点の活力促進に向けた交通環境の充実
施策パッケージ	(4) 拠点における交通結節機能の強化や連携強化
<ul style="list-style-type: none"> 岸和田市の公共交通ネットワークの要となる駅前広場等の整備推進や鉄道とその他の交通手段との乗継利便性の向上を図るため、交通結節機能の強化を図ります。 	
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>施策 8：駅前広場の整備推進</p> <p>施策 9：交通結節機能の拡充</p> </div>	

戦略目標Ⅲ	人流・物流や都市の魅力づくりを支える交通ネットワークの形成
施策パッケージ	(5) 泉南地域の中心都市としての魅力を維持・向上させる交通体系の構築
<ul style="list-style-type: none"> 都市間や市内拠点間を結ぶ道路ネットワークや公共交通ネットワークをはじめ、大規模災害時の交通ネットワークの確保を図ることで、活力と魅力あるまちづくりを進めます。 	
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>施策 10：都市計画道路の整備推進</p> <p>施策 11：公共交通網の拡充</p> <p>施策 12：災害時における交通ネットワークの確保</p> </div>	

戦略目標Ⅲ	人流・物流や都市の魅力づくりを支える交通ネットワークの形成
施策パッケージ	(6) 市民や来訪者が分かりやすく使いやすい交通環境づくり
<ul style="list-style-type: none"> 市民や来訪者がともに分かりやすく、移動しやすい交通環境の充実を推進することで、活力と魅力あるまちづくりを進めます。 	
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>施策 13：交差点等における交通混雑の緩和</p> <p>施策 14：市民や来訪者にとっても利用しやすい公共交通情報の充実</p> </div>	

戦略目標Ⅳ	地域とともにすすめる安心・安全な交通環境の確保
施策パッケージ	(7) 地域性に応じた生活交通の確保
<ul style="list-style-type: none"> 地域主体による地域にふさわしく持続可能な交通体系の構築を支援し、生活交通の確保を図ります。 	
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>施策 15：地域住民主体による持続可能な公共交通体系の確立</p> <p>施策 16：協働による地域バス等の導入検討</p> </div>	

戦略目標Ⅳ	地域とともにすすめる安心・安全な交通環境の確保
施策パッケージ	(8) 地域に優しい生活道路の創出
<ul style="list-style-type: none"> 通学路等の生活道路での交通安全対策施設の設置や、子どもの見守り活動、交通規制等の施策を推進することで、生活道路における人優先の安心・安全な通行空間の確保を図ります。 	
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>施策 17：生活道路等における歩行者の安全な通行の確保</p> <p>施策 18：地域住民による通学路等での安全確保</p> </div>	

表 6-1 戦略目標に基づく施策パッケージと施策の体系

戦略目標	施策パッケージ	施策	
I 誰もが暮らしやすく、外出・移動しやすい交通体系の構築	(1)多様な交通手段により移動しやすい交通体系の構築	施策1	幹線道路における安心・安全な歩行空間の創出
		施策2	自転車利用環境の向上
		施策3	バス交通サービスの拡充
	(2)子どもから高齢者が安全で外出しやすい交通環境づくり	施策4	移動環境におけるバリアフリー化の推進
		施策5	子どもや高齢者の交通安全
II 拠点の活力促進に向けた交通環境の充実	(3)拠点での回遊性を高めるにぎわい空間の創出やアクセス機能の強化	施策6	鉄道駅等へのアクセス道路の整備推進
		施策7	公共交通による拠点へのアクセス改善
	(4)拠点における交通結節機能の強化や連携強化	施策8	駅前広場の整備推進
		施策9	交通結節機能の拡充
		III 人流・物流や都市の魅力づくりを支える交通ネットワークの形成	(5)泉南地域の中心都市としての魅力を維持・向上させる交通体系の構築
施策11	公共交通網の拡充		
施策12	災害時における交通ネットワークの確保		
(6)市民や来訪者が分かりやすく使いやすい交通環境づくり	施策13	交差点等における交通混雑の緩和	
	施策14	市民や来訪者にとっても利用しやすい公共交通情報の充実	
IV 地域とともにすすめる安心・安全な交通環境の確保	(7)地域性に応じた生活交通の確保	施策15	地域住民主体による持続可能な公共交通体系の確立
		施策16	協働による地域バス等の導入検討
	(8)地域に優しい生活道路の創出	施策17	生活道路等における歩行者の安全な通行の確保
		施策18	地域住民による通学路等での安全確保

7. 実施プログラム

7.1 実施事業と実施スケジュール

岸和田市交通まちづくりアクションプランの計画期間は、基本計画編の第1章で示したとおり、「平成34(2022)年度」です。この限られた時間と厳しい財政状況の中において、本計画の基本理念を実現するためには、市民・交通事業者・行政の3者が協働のもと、それぞれが自らの役割を認識しながら一体となって取組むとともに適切な進行管理を行うことが不可欠であり、以下の実施プログラムに基づき、各施策の取組みを推進していきます。

戦略目標Ⅰ 誰もが暮らしやすく、外出・移動しやすい交通体系の構築

施策パッケージ	施策			実施中の施策	実施時期		
					短期 (概ね5年)	中期 (概ね10年)	長期 (概ね10年起)
(1) 多様な交通手段により移動しやすい交通体系の構築	施策1	幹線道路における安心・安全な歩行空間の創出	1-1	歩道分離による歩行空間の整備	●	○	○
	施策2	自転車利用環境の向上	2-1	自転車走行空間の確保	●	○	○
			2-2	自転車ネットワーク計画の策定に向けた検討		○	
施策3	バス交通サービスの拡充	3-1	路線定期運行バスの利便性向上	●	○	○	
(2) 子どもから高齢者が安全で外出しやすい交通環境づくり	施策4	移動環境におけるバリアフリー化の推進	4-1	岸和田市交通バリアフリー基本構想に基づく特定経路のバリアフリー化	●	○	○
			4-2	鉄道駅舎等の公共交通機関のバリアフリー化	●	○	○
	施策5	子どもや高齢者の交通安全	5-1	小学生や高齢者を対象とした交通安全教室の実施	●	○	○

戦略目標Ⅱ 拠点の活力促進に向けた交通環境の充実

施策パッケージ	施策			実施中の施策	実施時期		
					短期 (概ね5年)	中期 (概ね10年)	長期 (概ね10年起)
(3) 拠点での回遊性を高めるにぎわい空間の創出やアクセス機能の強化	施策6	鉄道駅等へのアクセス道路の整備推進	6-1	アクセス道路整備	●	○	○
	施策7	公共交通による拠点へのアクセス改善	7-1	公共交通によるアクセスの改善	●	○	○
(4) 拠点における交通結節機能の強化や連携強化	施策8	駅前広場の整備推進	8-1	駅前広場の整備	●	○	○
	施策9	交通結節機能の拡充	9-1	機能拡充に向けた整備推進		○	○

戦略目標Ⅲ 人流・物流や都市の魅力づくりを支える交通ネットワークの形成

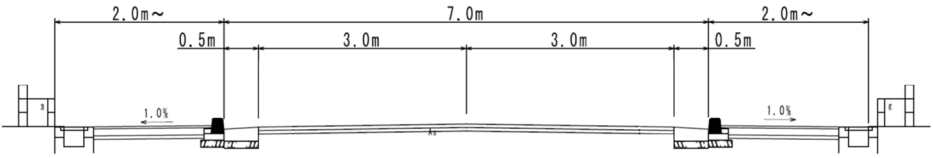


施策パッケージ	施策			実施中の施策	実施時期		
					短期 (概ね5年)	中期 (概ね10年)	長期 (概ね10年起)
(5) 泉南地域の中心都市としての魅力を維持・向上させる交通体系の構築	施策10	都市計画道路の整備推進	10-1	広域幹線道路の整備推進		○	○
			10-2	市内幹線道路の整備推進	●	○	○
	施策11	公共交通網の拡充	11-1	公共交通機関の連携強化	●	○	○
	施策12	災害時における交通ネットワークの確保	12-1	広域緊急交通路や地域緊急交通路の整備推進		○	○
(6) 市民や来訪者が分かりやすく使いやすい交通環境づくり	施策13	交差点等における交通混雑の緩和	13-1	主要渋滞箇所等における交差点改良等の推進	●	○	○
	施策14	市民や来訪者にとっても利用しやすい公共交通情報の充実	14-1	公共交通情報誌による情報提供	●	○	○
14-2			スマートフォンアプリ等による情報提供	●	○	○	

戦略目標Ⅳ 地域とともにすすめる安心・安全な交通環境の確保

施策パッケージ	施策			実施中の施策	実施時期		
					短期 (概ね5年)	中期 (概ね10年)	長期 (概ね10年起)
(7) 地域性に応じた生活交通の確保	施策15	地域住民主体による持続可能な公共交通体系の確立	15-1	地域主導による交通体系の構築に向けた取組み	○	○	○
	施策16	協働による地域バス等の導入検討	16-1	持続可能な地域バス等の導入検討	○	○	○
(8) 地域に優しい生活道路の創出	施策17	生活道路等における歩行者の安全な通行の確保	17-1	交通安全対策の実施	●	○	○
	施策18	地域住民による通学路等での安全確保	18-1	通学路等における子どもの見守り活動の推進	●	○	○

7.2 実施事業の概要


施策1 幹線道路における安心・安全な歩行空間の創出 (1/2)

戦略目標Ⅰ	誰もが暮らしやすく、外出・移動しやすい交通体系の構築			
施策パッケージ	(1) 多様な交通手段により移動しやすい交通体系の構築			
施策1	幹線道路における安心・安全な歩行空間の創出	活動と移動の階層構造		
		広域圏	近隣圏	生活圏
			○	○
実施主体 ・ 関係機関	岸和田市、大阪府			
実施事業	<p>〔1-1〕歩車道分離による歩行空間の整備</p> <p>岸和田市と大阪府の歩道整備事業の基本的な考え方は、交通量が多い路線や通学路指定道路、バリアフリー法に基づく特定道路などを対象に、市と府の連携・協力のもと、地域状況等を総合的に勘案し優先整備区間を定めて実施することとしています。交通状況に応じて車道と歩道の幅員構成を見直すなど、道路空間の再配分も視野に、歩行空間の確保に向けた検討を進めます。</p> <p>◆市道久米田東西線（大阪臨海線～堺阪南線）【岸和田市】</p> <ul style="list-style-type: none"> 沿道には、高齢者や身体障害者の方も利用される施設があり、また小学校や中学校の通学路でもあるため、歩行者の通行量が多い道路であるが、歩行者と自動車とが白線のみで分離されている区間が多い状況である。そのため、通行の安全性を確保するため、歩道整備を進めている。 <p>○道路整備のイメージ</p> <p style="text-align: center;">標準断面図（完成時）</p>  <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>整備前</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>整備後</p> </div> </div> <p style="text-align: right;">資料：岸和田市資料</p>			

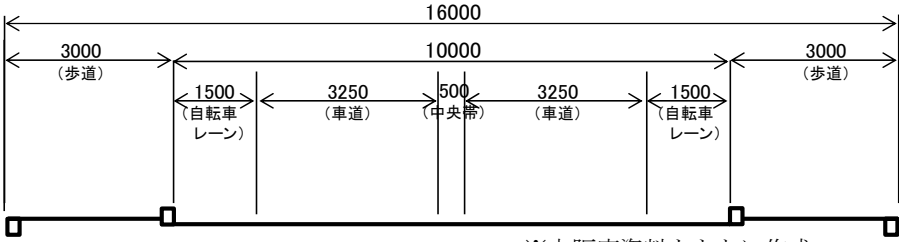
施策1 幹線道路における安心・安全な歩行空間の創出 (2/2)

◆府道岸和田港塔原線（土生～土生交番前）【大阪府】

- J R 阪和線との交差部は主要渋滞箇所を選定されており、渋滞解消のため J R 阪和線東岸和田駅付近高架化事業を実施している。また、周辺には小学校や中学校、専門学校等があり歩行者の通行量も多いため、道路拡幅に合わせて歩道設置を行う。



○道路整備のイメージ



※大阪府資料をもとに作成

◆府道岸和田港塔原線（岸和田駅南～野田町）【大阪府】

- 南海本線岸和田駅から泉南府民センターや岸和田保健所への特定経路であり、周辺には中学校や高校もあるため歩行者の通行量が多い。また、幹線道路でもあり車の交通量も多いため、車道拡幅に合わせて歩道設置を行う。

実施スケジュール	【短期】					【中・長期】
	交通まちづくりアクションプラン					
	H30 (2018)	H31 (2019)	H32 (2020)	H33 (2021)	H34 (2022)	
久米田東西線						H35(2023)以降
岸和田港塔原線 (土生～土生交番前)	※					
岸和田港塔原線 (岸和田駅南～野田町)						

※大阪府都市整備中期計画（案）*より

戦略目標 I	誰もが暮らしやすく、外出・移動しやすい交通体系の構築			
施策パッケージ	(1) 多様な交通手段により移動しやすい交通体系の構築			
施策 2	自転車利用環境の向上	活動と移動の階層構造		
		広域圏	近隣圏	生活圏
			○	○
実施主体 ・ 関係機関	岸和田市、大阪府、岸和田警察			
実施事業	<p>〔2-1〕 自転車走行空間の確保</p> <p>岸和田市の自転車走行空間の確保の基本方針</p> <ol style="list-style-type: none"> 市内の主要施設、交通結節点を結ぶ道路において、自転車通行空間の確保・整備を計画的に進める。 自転車関連事故や自転車交通量の多い区間、自転車指導啓発重点地区及び路線においては、早期に整備を進める。 早期整備の観点から、既存の整備済み道路については現状の車道内で路面標示等による誘導を行う。 事業中路線については、整備の進捗や周辺環境を踏まえ、計画幅員内で道路空間を再配分し、車道内に自転車通行空間を確保する。 新規着手路線については、当該路線の位置付けに応じて道路構造令の見直し状況等を踏まえ、自転車通行空間を確保する。 <p>大阪府自転車通行空間整備緊急 3 か年計画(案) (平成 28(2016)年 10 月策定)</p> <ol style="list-style-type: none"> 自転車、歩行者の安全確保のための、スピード感のある自転車通行空間の整備を目的とする。 自転車関連事故や自転車交通量の多い区間、警察が選定した自転車指導啓発重点地区及び路線に該当する緊急度の高い区間から、早期整備の可能な区間を選定し整備を進める。 早期整備の観点から、現状の車道内で路面表示等による誘導を行う。また、車道幅員に余裕があるなどの区間では「自転車専用通行帯」として整備を検討する。 今後の 10 か年整備計画策定に向けた取組みとして、市町村による自転車ネットワーク計画の策定を促進し、市町村道等を含めた自転車ネットワーク形成に向け、府管理道路における整備方針と、当面 10 年の整備路線等を定めた整備計画の策定に向けて取り組んでいる。 <p>◆市道岸和田駅東停車場線【岸和田市】</p> <ul style="list-style-type: none"> 岸和田駅東停車場線において歩行者・自転車の安全確保を図るための自転車レーンの整備や歩道のバリアフリー化を目指して、道路改良工事が進められている。平成 30(2018)年度には国道 26 号から岸和田駅前広場までの区間で、道路空間の再配分により自転車レーンを整備する予定となっている。 			

施策2 自転車利用環境の向上 (2/2)

実施事業

〔整備前（現況）〕



〔整備後のイメージ〕



出典：岸和田市資料

◆府道堺阪南線【大阪府】

- 岸和田市内の「大阪府自転車通行空間整備緊急3か年計画（案）」の対象路線として、府道堺阪南線の市内全区間が対象となっており、自転車走行空間の整備が予定されている。

○車道内での自転車通行空間の形態イメージ

路面表示等による誘導	自転車専用通行帯
○車道左側部の車線内に矢羽根型の路面表示及びピクトグラム等を設置して車道に誘導	○車道の左側に普通自転車専用通行帯の交通規制を実施し、道路標識等により自転車通行空間を明確化
 <p>路面表示等を設置</p> <p>幅 1.0m 以上 が望ましい</p>	 <p>幅 1.5m 以上</p>
※道路構造令第2条第4号及び道路交通法第2条第1項第3号に規定する車道をいう	※道路交通法第20条第2項の規定により自転車の通行区分が道路標識等で指定された専用通行帯（道路標識等で「道路交通法第63条の4第2項の普通自転車通行指定部分」に指定されたものは除く）をいう

資料：大阪府自転車通行空間整備緊急3か年計画（案）
（大阪府 平成28(2016)年10月策定）

〔2-2〕自転車ネットワーク計画の策定に向けた検討【岸和田市】

自転車による移動の連続性と回遊性を高め、自転車走行空間の効果的、効率的な整備を図ることを目的とした「(仮)岸和田市自転車ネットワーク計画」の策定に向けた検討を進めます。

	【短期】					【中・長期】
	交通まちづくりアクションプラン					
実施スケジュール	H30 (2018)	H31 (2019)	H32 (2020)	H33 (2021)	H34 (2022)	H35(2023)以降
岸和田駅東停車場線	■					
堺阪南線	■					
自転車ネットワーク計画			■	■	■	

戦略目標 I	誰もが暮らしやすく、外出・移動しやすい交通体系の構築			
施策パッケージ	(1) 多様な交通手段により移動しやすい交通体系の構築			
施策 3	バス交通サービスの拡充	活動と移動の階層構造		
		広域圏	近隣圏	生活圏
			○	○
実施主体 ・ 関係機関	岸和田市、南海ウイングバス南部			
実施事業	<p>〔3-1〕 路線定期運行バスの利便性向上</p> <p>◆路線バスのルート見直し及びダイヤ改正【南海ウイングバス南部】</p> <ul style="list-style-type: none"> 路線バスの利便性向上を図るために、葛城線にて循環ルートを導入した。今後も利用状況に合わせて循環ルートの運行時間帯の拡大を検討する。 わかりやすく覚えやすいダイヤにするため、一部の路線と一部の時間帯でパターンダイヤ*を導入した。今後もパターンダイヤ化に向け検討を行う。 ローズバスの再編に合わせて乗継拠点の設置を検討する。 			
	<p>◆ローズバスの路線再編及びダイヤ改正と料金体系の適正化</p> <p style="text-align: right;">【岸和田市・南海ウイングバス南部】</p> <ul style="list-style-type: none"> ローズバスの利便性向上や効率化を図るため、路線の再編を実施する。 ローズバスの利便性向上を図るために、路線の再編と合わせてパターンダイヤ化に向け検討を行う。 鉄道・路線バス相互の乗り継ぎの利便性の向上を図るため、乗継拠点の設置を検討する。 <p>・ 市民負担の公平性の観点や路線バスの運賃体系を考慮し、受益者負担を含めた料金体系の見直しを行う。</p>			



施策3 バス交通サービスの拡充 (2/2)

実施事業	○路線バスの役割分担イメージ					
実施スケジュール	【短期】					【中・長期】
	交通まちづくりアクションプラン					H35(2023)以降
	H30 (2018)	H31 (2019)	H32 (2020)	H33 (2021)	H34 (2022)	
路線バスのルート見直し及びダイヤ改正						
ローズバスの路線再編及びダイヤ改正と料金体系の適正化						

施策4 移動環境におけるバリアフリー化の推進 (1/2)

戦略目標 I	誰もが暮らしやすく、外出・移動しやすい交通体系の構築			
施策パッケージ	(2) 子どもから高齢者が安全で外出しやすい交通環境づくり			
施策 4	移動環境におけるバリアフリー化の推進	活動と移動の階層構造		
		広域圏	近隣圏	生活圏
		○	○	○
実施主体 ・ 関係機関	岸和田市、大阪府、国土交通省、西日本旅客鉄道、南海電気鉄道、南海ウイングバス南部			
実施事業	<p>〔4-1〕岸和田市交通バリアフリー基本構想に基づく特定経路のバリアフリー化</p> <p>本市では、「岸和田市交通バリアフリー基本構想」を策定し、「人にやさしく ふれあいがあり 安心して移動できる 地域輝くまちづくり」を基本理念として、重点整備地区内のバリアフリー化を進めています。今後も、だれもが安全・快適に移動できる交通環境の実現を目指し、歩道の段差・勾配の解消、音響式信号機の設置など歩行空間のバリアフリー化を引き続き進めます。</p> <p>◆市道岸和田駅東停車場線【岸和田市】(再掲)</p> <ul style="list-style-type: none"> 歩行者・自転車の安全確保を図るための自転車レーンの整備や歩道のバリアフリー化を目指して、道路改良工事を進めている。 <p>○市道岸和田駅東停車場線における歩道部の勾配緩和のイメージ</p> <p>資料：岸和田市資料</p> <p>○市道岸和田駅東停車場線におけるバリアフリー化された歩道の様子</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> <p>整備前</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>整備後</p> </div> </div> <p>◆市道久米田東西線(大阪臨海線～堺阪南線)【岸和田市】(再掲)</p> <p>◆府道岸和田港塔原線(岸和田駅南～野田町)【大阪府】(再掲)</p> <p>〔4-2〕鉄道駅舎等の公共交通機関のバリアフリー化</p> <p>「岸和田市交通バリアフリー基本構想」に基づきバリアフリー化を進め、「公共交通機関の旅客施設に関する移動等円滑化整備ガイドライン」、車両等については「公共交通機関の車両等に関する移動等円滑化整備ガイドライン」を目安として整備し、バリアフリー化の推進に努めることが望めます。</p>			

実施事業

◆南海本線蛸地蔵駅内方線設置【南海電気鉄道】

- 従来は注意喚起・警告を促す点状ブロックを設置していたが、視覚障害者がホーム上で方向を見失った場合に、ホームの内側と外側を区別できないため、誤って線路内に転落してしまうという危険性がある。そこで、ホームからの転落防止対策を図るために、「ホームドアの整備促進等に関する検討会中間とりまとめ (H23(2011).8)」に基づき、市内鉄道駅において、利用者数が1万人以上の駅から順次内方線付き点状ブロックの設置を行う。

○市内鉄道駅における内方線設置状況



南海本線岸和田駅



南海本線春木駅

資料：岸和田市資料

[整備済み駅]

- ・南海本線 岸和田駅、春木駅、和泉大宮駅
- ・JR阪和線 東岸和田駅、久米田駅

○内方線付き点状ブロックとは

1本の線状突起がある側がホームであることを示す点状ブロックのことで、これにより目の不自由な方が、どちらがホームの内側なのかを、判別できる。



ホーム外側(線路側) | ホーム内側

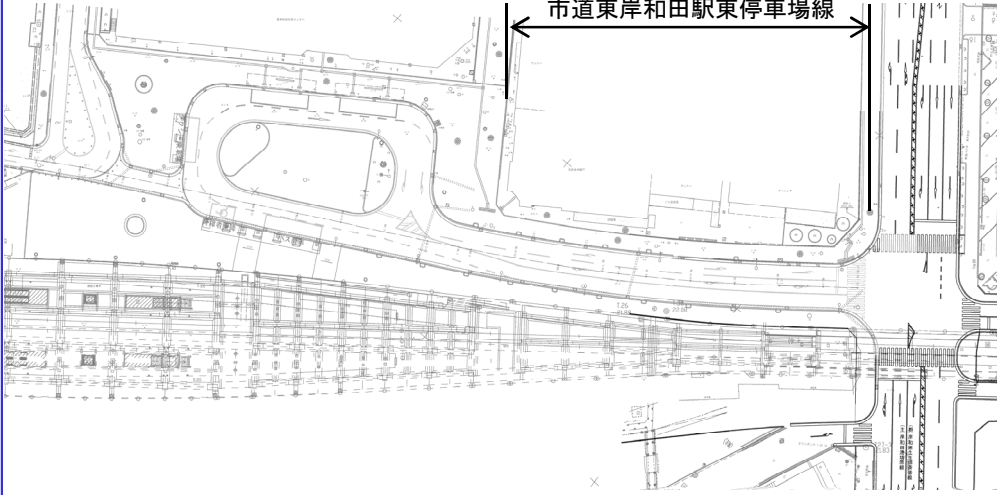
- ・点状突起25点(5×5)
- ・ホームの内側を表示する線状突起(内方線)あり

資料：国土交通省HP

実施スケジュール	【短期】					【中・長期】
	交通まちづくりアクションプラン					H35(2023)以降
	H30 (2018)	H31 (2019)	H32 (2020)	H33 (2021)	H34 (2022)	
岸和田駅東停車場線						
久米田東西線						
岸和田港塔原線						
南海本線蛸地蔵駅						

戦略目標 I	誰もが暮らしやすく、外出・移動しやすい交通体系の構築				
施策パッケージ	(2) 子どもから高齢者が安全で外出しやすい交通環境づくり				
施策 5	子どもや高齢者の交通安全			活動と移動の階層構造	
				広域圏	近隣圏
			○	○	
実施主体 ・関係機関	岸和田市、岸和田警察				
実施事業	<p>〔5-1〕小学生や高齢者を対象とした交通安全教室の実施</p> <p>◆こども交通安全教室等の実施【岸和田警察・岸和田市】</p> <ul style="list-style-type: none"> 小学生等の子どもを対象とした交通安全教室を実施する。 <div style="border: 1px dashed gray; padding: 5px;"> <p>【これまでの取組み】こども交通安全教室（蜻蛉池公園）</p> <p>全国交通安全運動期間中に、蜻蛉池公園の水と緑の音楽広場で子ども連れ家族を対象に交通安全教室を実施している。</p>  <p>資料：岸和田市資料</p> </div>				
	<p>◆高齢者交通安全教室の実施【岸和田警察・岸和田市】</p> <ul style="list-style-type: none"> 高齢者を対象とした交通安全教室を実施する。 また、高齢者運転免許証自主返納サポート制度*のPR等も合わせて行う。 <div style="border: 1px dashed gray; padding: 5px;"> <p>【これまでの取組み】ワンデー・スクール講習（岸和田自動車教習所）</p> <p>全国交通安全運動期間中に、岸和田自動車教習所で高齢者を対象に交通安全教室を実施している。</p>  <p>資料：岸和田市資料</p> </div>				
実施スケジュール	【短期】			【中・長期】	
	交通まちづくりアクションプラン				
	H30 (2018)	H31 (2019)	H32 (2020)	H33 (2021)	H34 (2022)
こども交通安全教室等の実施					
高齢者の交通安全教室の実施					

施策6 鉄道駅等へのアクセス道路の整備推進 (1/3)

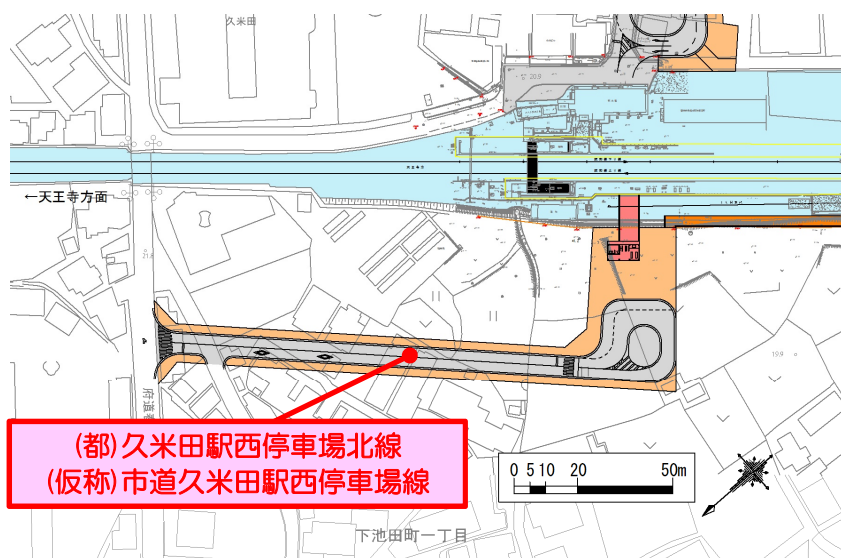
戦略目標Ⅱ	拠点の活力促進に向けた交通環境の充実		
施策パッケージ	(3) 拠点での回遊性を高めるにぎわい空間の創出やアクセス機能の強化		
施策6	鉄道駅等へのアクセス道路の整備推進	活動と移動の階層構造	
		広域圏	近隣圏
			○
実施主体 ・関係機関	岸和田市		
実施事業	<p>〔6-1〕アクセス道路整備</p> <p>拠点等へのアクセス道路整備については、交通量や鉄道駅の利用者数、地域状況を勘案し順次整備を進めていきます。</p> <p>◆市道東岸和田駅東停車場線〔JR東岸和田駅〕【岸和田市】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・JR阪和線東岸和田駅付近高架化事業と連携し、暫定供用中であるJR東岸和田駅前広場と府道岸和田港塔原線を結ぶ東岸和田駅東停車場線の拡幅整備を行い、自動車、歩行者等の通行空間を確保する。 ・附属街路などの関連道路整備により、駅西側から駅へのアクセス性の向上を図るための検討を行う。 <p>○市道東岸和田駅東停車場線の整備イメージ</p>		
	 <p>資料：岸和田市資料</p>		

実施事業

◆ JR久米田駅西側アクセス道路〔JR久米田駅〕【岸和田市】

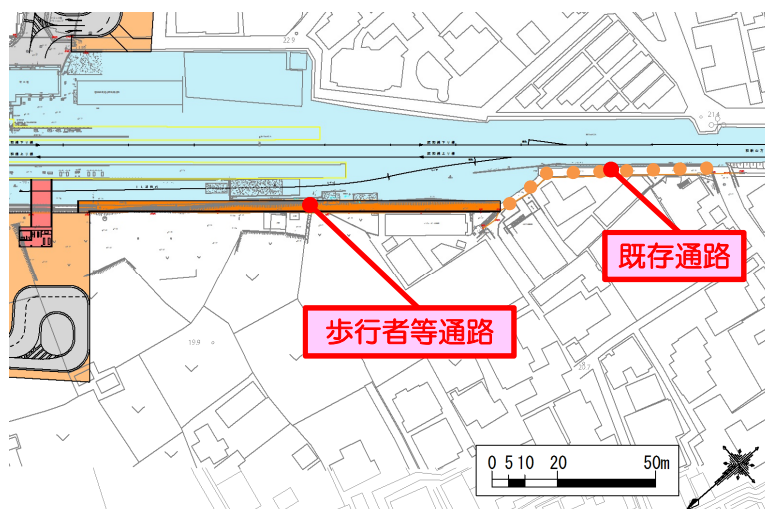
- ・「久米田駅周辺まちづくり基本構想」に掲げた将来計画における第一次整備計画として策定した「久米田駅東西アクセス改善基本構想」の整備内容「西側アクセス道路」において、(都)久米田駅西停車場北線を整備するとしており、(都)久米田駅西停車場北線を(仮称)市道久米田駅西停車場線として整備し、駅西側から駅へのアクセス性及び交通結節機能の向上を図る。また、整備内容「歩行者等通路」に基づき、歩行者等通路を整備し、駅西側から駅への歩行者、自転車等のアクセス性の向上を図る。

○ (仮称)市道久米田駅西停車場線の整備イメージ



(都)久米田駅西停車場北線
(仮称)市道久米田駅西停車場線

○ 歩行者等通路の整備イメージ



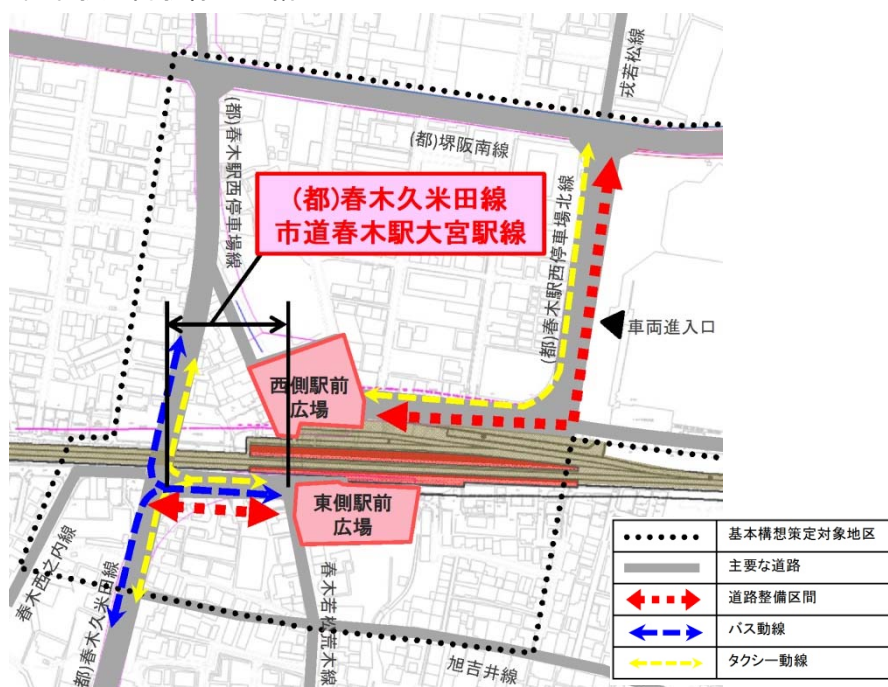
※久米田駅東西アクセス改善基本構想(平成29(2017)年6月 岸和田市)をもとに作成

実施事業

◆市道春木駅大宮駅線〔南海春木駅〕【岸和田市】

・「春木駅周辺まちづくり基本構想」の道路・交通の方針「交通の拠点となる駅前広場とアクセス道路の整備」において、駅の東西両側に駅前広場を整備し、西側駅前広場へのアクセスは(都)春木駅西停車場北線、東側駅前広場へのアクセスは(都)春木久米田線からとすとしており、春木駅へのアクセス道路の整備として、(都)春木久米田線のうち市道春木駅大宮駅線との重複区間を市道春木駅大宮駅線として整備し、市道春木駅大宮駅線の渋滞緩和を図るとともに安全な歩行空間の確保を図る。

○市道春木駅大宮駅線の整備イメージ




※春木駅周辺まちづくり基本構想(平成29(2017)年8月 岸和田市)をもとに作成

◆市道岸和田駅東停車場線〔南海岸和田駅〕【岸和田市】(再掲)

実施スケジュール	【短期】					【中・長期】
	交通まちづくりアクションプラン					
	H30 (2018)	H31 (2019)	H32 (2020)	H33 (2021)	H34 (2022)	H35(2023)以降
東岸和田駅東停車場線	■					
久米田駅西側アクセス道路	■					
春木駅大宮駅線	■					
岸和田駅東停車場線	■					

施策7 公共交通による拠点へのアクセス改善 (1/1)

戦略目標Ⅱ	拠点の活力促進に向けた交通環境の充実				
施策パッケージ	(3) 拠点での回遊性を高めるにぎわい空間の創出やアクセス機能の強化				
施策7	公共交通による拠点へのアクセス改善	活動と移動の階層構造			
		広域圏	近隣圏	生活圏	
実施主体 ・関係機関	岸和田市、南海ウイングバス南部				
実施事業	<p>〔7-1〕公共交通によるアクセスの改善</p> <p>市内の拠点である鉄道駅への路線バス等の乗入れやバス・バスの乗継割引の導入、ダイヤ改正によるアクセス改善の検討を行います。</p> <p>◆JR東岸和田駅前広場（東側）へのバスの乗入れ【南海ウイングバス南部】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 暫定供用中の東岸和田駅前広場（東側）へのアクセス道路整備に合わせて、路線バスの乗入れ検討を行い、鉄道駅へのアクセス改善を図る。 <p>◆バス・バス乗継割引の導入【南海ウイングバス南部】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 路線バスとローズバスとの乗継利用時に交通系ICカード*利用によるバス・バス乗継割引を導入する。 ・ 交通系ICカード利用により1回目の精算時から2回目の精算が2時間以内であれば、利用運賃の割引を行う。 				
	<p>○交通系ICカード利用によるバス・バス乗継割引の概要</p> <p>バス・バス乗継割引</p> <p>1回限乗継ごとに運賃を大人1人につき50円割引!! (小児は20円)</p> <p>1回目のご精算時刻から2回目のご精算が2時間以内であれば、何回でも割引いたします。</p> <p>※ご精算時刻とは、降車または乗車の精算時刻です。</p>  <p>通常運賃 220円 + 250円 >>> 470円</p> <p>バス・バス乗継割引 220円 + 200円 >>> 420円 50円お得!</p> <p>※経路精算には適用いたしません。経路精算時間帯は経路残額を優先して運賃を引き去ります。 ※泉北・河内長野リムジンバスには適用いたしません。</p> <p>資料：南海バス株式会社 HP</p> <p>◆路線バスのルート見直し及びダイヤ改正【南海ウイングバス南部】(再掲)</p> <p>◆ローズバスの路線再編及びダイヤ改正と料金体系の適正化</p> <p>【岸和田市・南海ウイングバス南部】(再掲)</p>				
実施スケジュール	【短期】				
	交通まちづくりアクションプラン				
	H30 (2018)	H31 (2019)	H32 (2020)	H33 (2021)	H34 (2022)
路線バス東岸和田駅前広場への乗入れ					
バス・バス乗継割引					
路線バスのルート見直し及びダイヤ改正					
ローズバス路線再編及びダイヤ改正と料金体系の適正化					

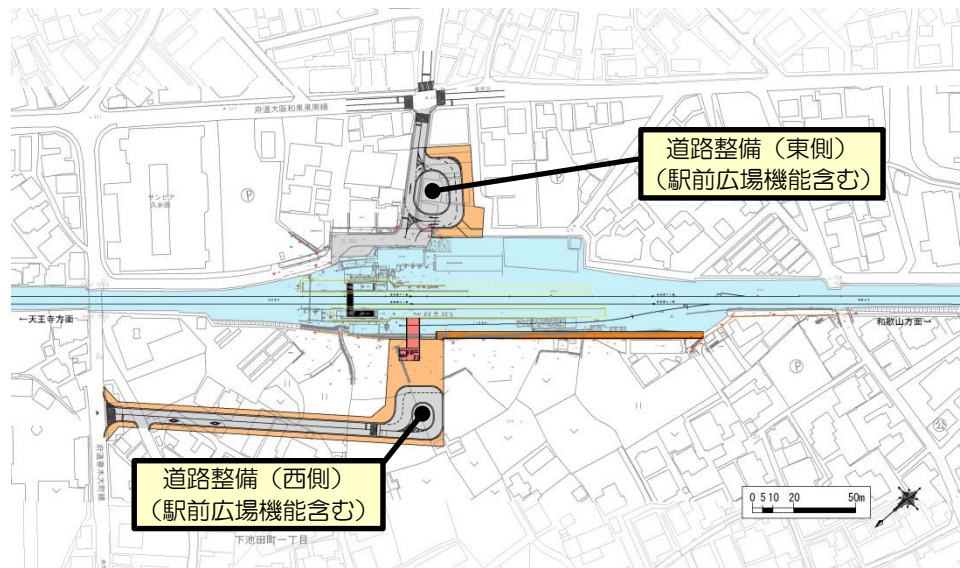
戦略目標Ⅱ	拠点の活力促進に向けた交通環境の充実			
施策パッケージ	(4) 拠点における交通結節機能の強化や連携強化			
施策 8	駅前広場の整備推進	活動と移動の階層構造		
		広域圏	近隣圏	生活圏
		○	○	
実施主体 ・ 関係機関	岸和田市、西日本旅客鉄道、南海電気鉄道			
実施事業	<p>〔8-1〕 駅前広場の整備</p> <p>駅前広場が暫定供用中である J R 東岸和田駅では、J R 阪和線東岸和田駅付近高架化事業と連携し、暫定供用中の東岸和田駅前広場（東側）の整備や附属街路の整備を行います。</p> <p>また、J R 久米田駅では、「久米田駅周辺まちづくり基本構想」に掲げた将来計画における第一次整備計画として策定した「久米田駅東西アクセス改善基本構想」に基づき、順次整備を進めます。</p> <p>◆東岸和田駅前東側交通広場の整備【岸和田市】</p> <ul style="list-style-type: none"> 暫定供用中の東岸和田駅前東側交通広場をアクセス道路整備と合わせて整備する。 <p>○ J R 東岸和田駅前広場イメージ</p>  <p>資料：岸和田市資料</p> <p>○ J R 東岸和田駅新駅舎イメージ</p>  <p>資料：岸和田市資料</p> <p>◆ J R 東岸和田駅（西側）附属街路整備【岸和田市】</p> <ul style="list-style-type: none"> 附属街路整備に合わせて駅西側からの歩行者・自動車等によるアクセスを可能とし、同時に一般車両の乗降用スペースを確保する。 			

実施事業

◆ JR久米田駅前（東側・西側）道路整備（駅前広場機能含む）【岸和田市】

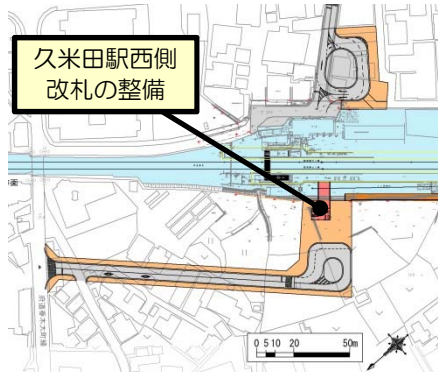
- ・ 「久米田駅東西アクセス改善基本構想」の整備内容「東側アクセス道路（駅前広場機能含む）」及び「西側アクセス道路（駅前広場機能含む）」において、駅東側及び西側アクセス道路（駅前広場機能含む）を整備するとしており、道路整備により、駅前広場機能（バスの乗り入れ、一般車、タクシー乗降など）を確保しアクセス性及び交通結節機能の向上を図る。


○道路整備（駅前広場機能含む）のイメージ



※久米田駅東西アクセス改善基本構想（平成 29 (2017)年 6 月 岸和田市）をもとに作成

実施スケジュール	【短期】					【中・長期】
	交通まちづくりアクションプラン					
	H30 (2018)	H31 (2019)	H32 (2020)	H33 (2021)	H34 (2022)	
JR東岸和田駅						H35(2023)以降
JR久米田駅						

戦略目標Ⅱ	拠点の活力促進に向けた交通環境の充実				
施策パッケージ	(4) 拠点における交通結節機能の強化や連携強化				
施策9	交通結節機能の拡充	活動と移動の階層構造			
		広域圏	近隣圏	生活圏	
		○	○		
実施主体 ・関係機関	西日本旅客鉄道、南海ウイングバス南部、岸和田市				
実施事業	<p>〔9-1〕機能拡充に向けた整備推進</p> <p>◆JR久米田駅西側改札の整備</p> <p>【西日本旅客鉄道・岸和田市】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・JR久米田駅前（東側・西側）道路整備（駅前機能含む）と同様に「久米田駅東西アクセス改善基本構想」の整備内容「西側改札」に基づき西側改札を整備し、駅西側から駅へのアクセス性及び公共交通の利便性の向上を図る。  <p>○西側改札の整備イメージ</p> <p>久米田駅西側改札の整備</p> <p>※久米田駅東西アクセス改善基本構想（平成29(2017)年6月 岸和田市）をもとに作成</p>				
	<p>◆JR東岸和田駅での駐輪場整備【岸和田市】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・JR阪和線東岸和田駅付近高架化事業により、新たに空間が生まれる駅舎近くの高架下スペースに駐輪場を整備する。 <p>◆バスの乗継環境拡充に向けた検討【南海ウイングバス南部・岸和田市】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・駅前広場等の整備に合わせて路線バスのルートを見直し、バス同士の乗り継ぎを検討する。 ・駅前広場でだけでなくバス同士や自転車、自動車等の交通手段との乗継利便性向上を図るために、バスの乗継環境拡充を検討する。 				
実施スケジュール	【短期】				
	交通まちづくりアクションプラン				
	H30 (2018)	H31 (2019)	H32 (2020)	H33 (2021)	H34 (2022)
久米田駅西側改札の整備					
JR東岸和田駅での駐輪場整備					
バスの乗継環境拡充に向けた検討					
	【中・長期】				
	H35(2023)以降				

戦略目標Ⅲ	人流・物流や都市の魅力づくりを支える交通ネットワークの形成		
施策パッケージ	(5) 泉南地域の中心都市としての魅力を維持・向上させる交通体系の構築		
施策10	都市計画道路の整備推進	活動と移動の階層構造	
		広域圏	近隣圏
実施主体 ・関係機関	岸和田市、大阪府		
実施事業	<p>〔10-1〕 広域幹線道路の整備推進</p> <p>◆府道大阪和泉泉南線〔都市計画道路泉州山手線〕 (都市計画道路磯之上山直線～国道170号)【大阪府】</p> <ul style="list-style-type: none"> 都市計画道路泉州山手線は、岸和田市の丘陵部における広域幹線であるとともに、地域の連携と活性化を支える重要な路線として、位置付けられている。 広域幹線道路の整備を担う大阪府では、「大阪府都市整備中期計画(案)(H28(2016).3改訂)」において、大阪の将来に必要なインフラ整備の推進として、“活力・成長”“安全・安心”の二本柱で実施するとしている。 その中で府道大阪和泉泉南線〔都市計画道路泉州山手線〕については、地元市町による災害時の活動拠点整備の具体化等と合わせ、都市計画変更など必要な手続きの見込みが立った段階で、事業内容を精査し、平成32(2020)年度までに区間を定めて着手するとしている。 <p>○ 都市計画道路泉州山手線整備のイメージ</p>		
	 <p>資料：都市計画道路泉州山手線及び関連路線の変更に関する説明会資料(平成29(2017)年7月 大阪府)</p>		

実施事業

〔10-2〕市内幹線道路の整備推進

◆交通処理機能の強化に必要な路線の整備【岸和田市】

- ・市内の幹線道路については、現在、都市計画道路岸和田港福田線（星和上松台～市道包近流木線）の事業を進めている。
- ・今後、岸和田市の交通ネットワークの形成を進めるためには、市内の幹線道路の中でも、現在の交通状況や広域幹線道路の整備などに合わせて効率的に整備することが重要である。
- ・そのため、現在の交通状況及び広域幹線の整備に合わせて、渋滞緩和機能や広域幹線への接続機能といった交通処理機能の強化が期待できる都市計画道路（岸和田中央線、田治米畑町線、大宮常盤線）の整備を推進する。

○交通処理機能の強化に必要な路線



※岸和田市資料をもとに作成

実施スケジュール	【短期】					【中・長期】
	交通まちづくりアクションプラン					H35(2023)以降
	H30 (2018)	H31 (2019)	H32 (2020)	H33 (2021)	H34 (2022)	
大阪和泉泉南線 (都市計画道路泉州山手線)					
	事業化に向けた手続き		地元市町による沿道地域のまちづくりの進展状況等も勘案し、区域を定めて順次着手			
岸和田港福田線						
市内幹線道路						

戦略目標Ⅲ	人流・物流や都市の魅力づくりを支える交通ネットワークの形成		
施策パッケージ	(5) 泉南地域の中心都市としての魅力を維持・向上させる交通体系の構築		
施策 1 1	公共交通網の拡充	活動と移動の階層構造	
		広域圏	近隣圏
実施主体 ・ 関係機関	岸和田市、バス事業者		

〔11-1〕公共交通機関の連携強化

◆路線バスによる鉄道駅間の乗継利便性の向上
 (南海岸和田駅～JR阪和線東岸和田駅)【南海ウイングバス南部】

- ・ 広域連携軸を担う鉄道駅間を路線バスでつなぎ、広域的な移動を公共交通網で支える。
- ・ 来訪者の交通手段の拡充を図るために、南海岸和田駅⇄JR東岸和田駅間を結ぶ路線バスを活用し、鉄道駅間の連携を強化する。

○鉄道駅間の連携イメージ

●: 鉄道と路線バスとの乗継拠点

実施事業

既存の路線バスの利用者の利便性を確保しつつ、広域連携軸である鉄道間の利用者の利便性の向上を図る。

◆岸和田市内を発着する高速バス路線の拡充に向けた検討【岸和田市】

- ・ 交流人口の拡大に向けたまちづくりを図るために、他都市へのアクセス性の向上を図る高速バスネットワークの構築に向け、岸和田市を発着する高速バス路線の検討を行う。

○南海岸和田駅前の高速バスのりば

現在は、南海岸和田駅前から川崎・東京方面のVIP LINERと北陸(越前あわら温泉・加賀山代温泉・加賀片山津温泉)方面及び鳴門方面のSPA LINEが運行している。

実施事業

◆泉北高速鉄道と泉中央駅からの延伸の検討【岸和田市】

- ・ 泉北高速鉄道と泉中央駅からの鉄道の延伸については、都市計画道路泉州山手線とともに広域連携軸を担うことが期待される。
- ・ 鉄道を延伸するためには需要の喚起が必要であり、まずは道路の整備とその沿道のまちづくりが重要との認識から、都市計画道路泉州山手線の整備が予定されており、沿道のまちづくりを進めている。
- ・ その進捗に合わせて、泉北高速鉄道と泉中央駅からの鉄道の延伸についても検討を進める。

【関連事業】

- 都市計画道路泉州山手線（〔10-1〕広域幹線道路の整備推進 参照）
- 都市計画道路泉州山手線沿道のまちづくり

【事例】鉄道延伸の事例（大阪府箕面市）

箕面市では、北大阪急行線の千里中央駅から北へ**2.5km**延伸する「北大阪急行線延伸事業」が進められている（平成**32(2020)**年度開業予定）。

北大阪急行線の延伸に合わせて、箕面萱野駅や箕面船場阪大前駅の新駅周辺では、まちづくりが進められている。

また、新駅を中心とした市内交通が充実したバスルートへの再編も予定されている。

○北大阪急行線延伸区間



資料：北大阪急行電鉄株式会社・箕面市
報道資料（平成30年7月24日）

実施スケジュール	【短期】					【中・長期】
	交通まちづくりアクションプラン					
	H30 (2018)	H31 (2019)	H32 (2020)	H33 (2021)	H34 (2022)	
						H35(2023)以降
路線バスによる鉄道駅間の乗り継ぎ利便性の向上						
高速バス路線の拡充に向けた検討						
泉北高速鉄道の延伸検討						

施策12 災害時における交通ネットワークの確保 (1/1)

戦略目標Ⅲ	人流・物流や都市の魅力づくりを支える交通ネットワークの形成					
施策パッケージ	(5) 泉南地域の中心都市としての魅力を維持・向上させる交通体系の構築					
施策12	災害時における交通ネットワークの確保	活動と移動の階層構造				
		広域圏	近隣圏	生活圏	○	○
実施主体 ・関係機関	岸和田市、大阪府					
実施事業	<p>〔12-1〕 広域緊急交通路や地域緊急交通路の整備推進</p> <p>岸和田市地域防災計画(平成 29(2017)年 4 月修正 岸和田市防災会議)では、広域緊急交通路や地域緊急交通路が含まれる都市基盤施設に災害対策上有効な防災機能の整備に努めるとしており、主要道路の整備をはじめ、一時避難場所及び避難路へと接続する生活道路の整備等を掲げています。</p> <p>③都市基盤施設の防災機能の強化</p> <p>市は、都市基盤施設に災害対策上有効な防災機能の整備に努める。施設管理者は、都市基盤施設における防災機能の保持に努める。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・主要道路の整備 <p>市及び国・府等の道路管理者は、道路交通の安全と円滑な運行を確保するため、府が指定する広域緊急交通路と市が指定する地域緊急交通路にアクセスする道路を主体に拡幅・改良を図り、必要に応じて落石覆工及び線形改良等の事業を実施し、災害に強い道路づくりを推進し、これにより安全な道路ネットワークの形成を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生活道路の整備 <p>市は、一時避難場所及び避難路へと接続する道路として、防災対策や安全対策等に配慮し、狭あい道路の解消に努め、避難しやすい安全性を確保した構造の道路として整備する。</p> <p>資料：岸和田市地域防災計画本編(平成 29(2017)年 4 月修正 岸和田市防災会議)</p> <p>◆交通処理機能の強化に必要な路線の整備【岸和田市】(再掲)</p> <p>◆府道大阪和泉泉南線〔都市計画道路泉州山手線〕 (都市計画道路磯之上山直線～国道170号)【大阪府】(再掲)</p>					
実施スケジュール	【短期】			【中・長期】		
	交通まちづくりアクションプラン					
	H30 (2018)	H31 (2019)	H32 (2020)	H33 (2021)	H34 (2022)	
岸和田港福田線						
市内幹線道路						
大阪和泉泉南線 (都市計画道路泉州山手線)						
	事業化に向けた手続き		地元市町による沿道地域のまちづくりの進展状況等も勘案し、区域を定めて順次着手			

施策13 交差点等における交通混雑の緩和 (1/1)

戦略目標Ⅲ	人流・物流や都市の魅力づくりを支える交通ネットワークの形成				
施策パッケージ	(6) 市民や来訪者が分かりやすく使いやすい交通環境づくり				
施策13	交差点等における交通混雑の緩和			活動と移動の階層構造	
				広域圏	近隣圏
	○	○			
実施主体 ・関係機関	岸和田市、大阪府、国土交通省				
実施事業	<p>〔13-1〕主要渋滞箇所等における交差点改良等の推進</p> <p>交通混雑の緩和のため主要渋滞箇所を選定されている箇所より対策を推進します。</p> <p>◆市道並松上松線〔東岸和田北三踏切〕【岸和田市】</p> <ul style="list-style-type: none"> 東西方向の幹線道路である市道並松上松線の渋滞解消のため、JR阪和線東岸和田駅付近高架化事業による自動車ボトルネック踏切の除却と同時に整備される附属街路との交差点改良を推進する。 <p>◆府道岸和田港塔原線〔東岸和田南一踏切〕【大阪府】</p> <ul style="list-style-type: none"> 東西方向の幹線道路である府道岸和田港塔原線の渋滞解消のため、JR阪和線東岸和田駅付近高架化事業による自動車ボトルネック踏切の除却と道路幅員の拡幅による4車線化、駅前広場アクセス道路との交差点改良を推進する。 <p>○府道岸和田港塔原線における事業完了後のイメージ</p>				
			<p>資料：大阪府都市整備部岸和田土木事務所資料</p>		
実施スケジュール	【短期】				
	交通まちづくりアクションプラン				
	H30 (2018)	H31 (2019)	H32 (2020)	H33 (2021)	H34 (2022)
	【中・長期】				
	H35(2023)以降				
並松上松線	■■■■■				
岸和田港塔原線	※■■■■■				

※大阪府都市整備中期計画(案)より

施策 14 市民や来訪者にとっても利用しやすい公共交通情報の充実 (2/2)

◆祭都きしわだ navi【岸和田市】

- 岸和田市内の観光等施設やイベント情報を表示し、GPS機能により岸和田市内における目的地までのルートを手軽に検索できる「祭都きしわだnavi」を活用し、公共交通に関する情報提供を行う。

○スマートフォン向け無料アプリ「祭都(さいと)きしわだnavi」



資料：岸和田市資料

◆バスロケーションシステム*【南海ウイングバス南部】

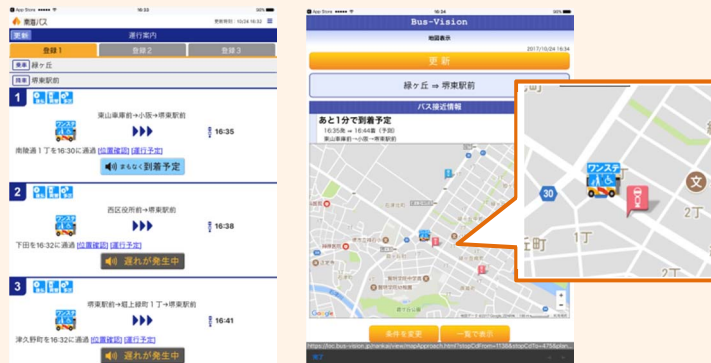
- 路線バスやローズバスの運行状況や停留所への到着時間等をスマートフォンアプリやメールにより提供するバスロケーションシステムの導入に向けた検討を行う。

実施事業

【事例】バスロケーションシステムによる運行情報の提供（南海バス(株)等）

平成 29(2017)年 4 月 1 日より、南海バス、南海ウイングバス金岡において、バス利用者への運行情報提供の充実や多言語化（英語）等のインバウンド対応の向上を目的として、「バスロケーションシステム」を導入している。


○スマートフォン専用アプリによる運行情報の提供



資料：スマートフォン専用アプリ「Bus-Vision for 南海バス」

実施スケジュール	【短期】					【中・長期】
	交通まちづくりアクションプラン					
	H30 (2018)	H31 (2019)	H32 (2020)	H33 (2021)	H34 (2022)	H35(2023)以降
バスマップ						
行政情報誌						
祭都きしわだnavi						
バスロケーションシステム						

施策15 地域住民主体による持続可能な公共交通体系の確立 (1/1)

戦略目標Ⅳ	地域とともにすすめる安心・安全な交通環境の確保				
施策パッケージ	(7) 地域性に応じた生活交通の確保				
施策15	地域住民主体による持続可能な公共交通体系の確立			活動と移動の階層構造	
				広域圏	近隣圏
実施主体 ・関係機関	市民、岸和田市、南海ウイングバス南部、市内タクシー事業者				
実施事業	<p>〔15-1〕地域主導による交通体系の構築に向けた取り組み</p> <p>地域住民が主体となって地域の実情に合ったまちづくりや交通について考え、協働で取り組みを進めるしくみづくりや取り組みを推進します。</p> <p>◆住民が活動しやすい環境づくり支援【市民・岸和田市】</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域が主体となり地域の公共交通について考える検討体制を確立するためのマニュアルを作成し、技術的な支援を行う。 <p>●【事例】コミュニティ交通導入の支援（神奈川県川崎市）</p> <p>地域の主体的な運営によるコミュニティ交通の導入に向けた取り組みに対して、「地域交通の手引き」に基づき、住民が活動しやすい環境づくり、安全運行のための情報提供、技術的支援の提供、交通事業者との調整など、取り組み等の進捗状況に応じた支援を行い、持続可能な交通環境の整備を推進している。</p>				
	<p>○地域交通の手引き</p>  <p>出典：神奈川県川崎市HP</p>			<p>◆地域で公共交通を守り、育てる意識の醸成【市民・岸和田市】</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域が主体となり地域の公共交通について考える学習会の開催や検討体制を確立し、自分たちに合った持続可能な公共交通を守り、育てる意識の醸成を図る。 	
実施スケジュール	【短期】				
	交通まちづくりアクションプラン				
	H30 (2018)	H31 (2019)	H32 (2020)	H33 (2021)	H34 (2022)
支援マニュアル作成					
市民意識の醸成					
	【中・長期】				
	H35(2023)以降				

施策16 協働による地域バス等の導入検討 (1/1)


戦略目標Ⅳ	地域とともにすすめる安心・安全な交通環境の確保				
施策パッケージ	(7) 地域性に応じた生活交通の確保				
施策16	協働による地域バス等の導入検討			活動と移動の階層構造	
				広域圏	近隣圏
					○
実施主体 ・関係機関	市民、南海ウイングバス南部、市内タクシー事業者、岸和田市				
実施事業	<p>〔16-1〕持続可能な地域バス等の導入検討</p> <p>◆試験運行の実施【市民・交通事業者・岸和田市】</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域・事業者・行政の協力体制を構築し、地域主体の地域バスや乗合タクシー等の導入を図る。 				
	<p>【事例】地域が主体となった新たな地域公共交通の導入「ぐるっと生瀬」 (兵庫県西宮市)</p> <p>「ぐるっと生瀬」では、地域住民が主体となって交通事業者・行政との協働で“生瀬住民のおでかけの足を考える”取組みを行っている。9年間に及ぶ調査研究、試験運行を重ね、利用者負担と住民負担で収支を賄う計画を立案し、平成27(2015)年10月より本格運行を開始している。</p> <p>また、交通困難の対策だけでなく、人がつながる、各自治会がつながることによって、生瀬地域の町全体が活性化することも目的としている。</p> <p style="text-align: right;">資料：ぐるっと生瀬事務局HP、阪急タクシー株式会社HP</p>				
実施スケジュール	【短期】			【中・長期】	
	交通まちづくりアクションプラン				
	H30 (2018)	H31 (2019)	H32 (2020)	H33 (2021)	H34 (2022)
試験運行の実施					




施策17 生活道路等における歩行者の安全な通行の確保 (1/2)

戦略目標Ⅳ	地域とともにすすめる安心・安全な交通環境の確保		
施策パッケージ	(8) 地域に優しい生活道路の創出		
施策17	生活道路等における歩行者の安全な通行の確保	活動と移動の階層構造	
		広域圏	近隣圏
実施主体 ・関係機関	岸和田警察、岸和田市、大阪府、国土交通省		
実施事業	<p>〔17-1〕交通安全対策の実施</p> <p>◆生活道路等における歩行者の交通安全対策の実施</p> <p style="text-align: center;">【岸和田警察・岸和田市・大阪府・国土交通省】</p> <ul style="list-style-type: none"> 生活道路における歩行者等の安全な通行を確保するため、路側帯の設置・拡幅や道路中央線を抹消することで、自動車の走行速度を抑制し、歩行者の通行空間を確保する。 対策エリアを対象に、車両の最高速度を時速 30 kmに規制するほか、地域の協力を得て、抜け道として通行する行為の抑制などを行い、生活道路の安全を確保する。 <p>○市内のゾーン30整備済み地域</p> <ul style="list-style-type: none"> 土生町地区 尾生町地区 		
	<div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p style="text-align: right;">※岸和田市資料をもとに作成</p> <ul style="list-style-type: none"> 教育委員会や道路管理者、交通管理者等が連携している「岸和田市通学路安全推進会議」において、通学路の安全を確保するために実施している合同点検により、対策必要箇所について対策の実施を検討し通学路交通安全プログラムを作成して実施する。 スクールゾーン内の歩道が整備されていない道路等の路側帯を緑色に着色して、車のドライバーが車道と路側帯を視覚的に、より明瞭に区分できるようにして、車両の速度を抑制させるとともに、歩行者との接触事故を防ぐことを目的としたグリーンベルト等による路側帯のカラー化を行う。 		

施策 17 生活道路等における歩行者の安全な通行の確保 (2/2)

実施事業	<p>【これまでの取り組み】生活道路における「グリーンベルト」の整備状況</p>  <p style="text-align: right;">資料：岸和田市資料</p>														
	<p>【短期】 交通まちづくりアクションプラン</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 15%;">H30 (2018)</th> <th style="width: 15%;">H31 (2019)</th> <th style="width: 15%;">H32 (2020)</th> <th style="width: 15%;">H33 (2021)</th> <th style="width: 15%;">H34 (2022)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td> </td> <td> </td> <td> </td> <td> </td> <td> </td> </tr> </tbody> </table>					H30 (2018)	H31 (2019)	H32 (2020)	H33 (2021)	H34 (2022)					
H30 (2018)	H31 (2019)	H32 (2020)	H33 (2021)	H34 (2022)											
生活道路等における歩行者の交通安全対策の実施															

施策18 地域住民による通学路等での安全確保 (1/1)

戦略目標Ⅳ	地域とともにすすめる安心・安全な交通環境の確保				
施策パッケージ	(8) 地域に優しい生活道路の創出				
施策18	地域住民による通学路等での安全確保	活動と移動の階層構造			
		広域圏	近隣圏	生活圏	○
実施主体 ・関係機関	市民、岸和田市、岸和田警察				
実施事業	<p>〔18-1〕通学路等における子どもの見守り活動の推進</p> <p>子どもの安全を地域で守るため「子どもの安全見まもり隊」や「スクールガードリーダー」、「子ども110番運動」、安心・安全メール「こども99番」等により「安心」「安全」なまちづくりを推進します。</p> <p>◆子どもの安全見まもり隊【市民・岸和田市】</p> <ul style="list-style-type: none"> 市内の全小学校区において、地域のボランティアの方々の協力を得ながら、子どもたちの登下校時の通学路における子どもの見守り活動を行い、子どもの安全確保に努めている「子どもの安全見まもり隊」の活動を推進する。 <p>○「子どもの安全見まもり隊」の活動状況</p>				
	 <p>平成29(2017)年度は約4,000名の方が、市内の見守り活動に参加し、子どもの登下校時、通学路や遊び場等で見守り活動を行っている。</p>				
実施スケジュール	【短期】				
	交通まちづくりアクションプラン				
	H30 (2018)	H31 (2019)	H32 (2020)	H33 (2021)	H34 (2022)
子どもの安全見まもり隊					
安心・安全メール					



資料：岸和田市資料